

いもる
imoru

留萌市立病院
「いもる」誌
第十三号



仕事のやりがいとは？

仕事をしている中で患者さんの笑顔を見たり、感謝の言葉をいただく事が一番嬉しく、やりがいを感じます。作業療法を提供し、出来ない事が出来るようになる喜びや達成感を分かち合う事もやりがいにつながります。

仕事に対しての心構えは？

医療職全般に共通することかもしれませんが、人の役に立ちたいという気持ちが大事だと思えます。患者さんの要望に応えるためには、日々勉強し根拠のある作業療法を提供する事が必要です。

仕事の中で大変なことは何ですか？

作業療法を提供する必要がある疾患は多岐にわたっており、患者さんによって症状が異なり、適用となる訓練方法も違います。

それぞれの患者さんに合わせた作業療法を提供する事にとっても苦慮しますが、試行錯誤する過程にやりがいや、楽しさもあります。

仕事で思い出深いことはありましたか？

私が仕事を始めたばかりの頃、初めて家屋調査に行った時のことです。緊張している私を他所に、久しぶりに自宅に帰った患者さんの表情は生き生きとしていました。家屋改修、介護サービス利用の目途が立ち、「やっと家に帰れる」と喜ぶ患者さんの姿をみて、この仕事を選んでよかったと思いました。

最後に何かメッセージはありますか？

私達が一人の患者さんと関わることができるのは、一日の中でほんの僅かな時間です。その限られた時間で、私たち作業療法士は、患者さん一人ひとりに寄り添い、精一杯サポートをします。そして、その時間がホッとできたり、楽しみにしてもらえる時間であるように日々努めています。作業療法士一同、皆さんが健康で活力あふれる毎日を過ごせるように祈っております。万が一、ケガや病気で作業療法によるリハビリが必要になった時は、私たちにお任せください！

今回のFOCUSは作業療法士に焦点を当てます。
当院で作業療法士として働いている皆さんにお話を伺いました。

作業療法士



「作業療法士」

「作業」とは、私たちが日常生活を送る上での全ての動作のことを言います。家事はもちろん、トイレに行く動作や趣味で手足を動かすことも「作業」です。その作業を用いてリハビリテーションを行いADL（日常生活活動）の改善・維持を目的としているのが作業療法士です。

どんな職種ですか？

当院では、手や肘の整形疾患、脳卒中等の影響で手足の不自由さから日常生活に障害を持つ方や、病院での長い入院生活などで起こる廃用症候群に対して「作業療法」を実施します。その人らしい生活を送る事が出来るように、家事や仕事等の動作ができるようになることを目標に掲げ、リハビリテーションを行っています。実際のリハビリでは、自宅での生活を想定した更衣訓練・トイレの動作訓練・調理訓練等が行われます。

また、その人に合った自助具の提案や、医師の指示の下、装具の作成なども行います。必要に応じて自宅の訪問も行い、生活しやすい環境づくりをサポート

Interviewee

作業療法士

理学療法との違いは？

トするお手伝いもしています。趣味やレクリエーションなども取り入れ、楽しみながら治療を行えるように心掛けています。

理学療法とは、寝返る、起き上がる、立ち上がる、歩くなどの基本動作のリハビリテーションを行います。作業療法は、実際の日常生活上の動作の訓練や手先を使う細かい訓練を行うのに対し、理学療法は、単純な体の動作能力の回復を目指して訓練を行います。

実際の訓練では、平行棒を使つての歩行訓練や、ベッドから起き上がる動作の訓練等があげられ、電気療法やマッサージを行うことも理学療法の大きな特徴です。

当院では、整形疾患において、手・肘のリハビリを作業療法士、肩・下肢のリハビリを理学療法士が担当し、体の部位によって役割分担をして作業療法と理学療法を分けて患者さんの疾患にあった適切な訓練を行います。

作業療法士になるには？

大学や、専門学校など養成機関を卒業することで国家試験の受験資格が得られ、年に1回行われる国家試験に合格することで作業療法士の国家資格を取得することができます。国家試験

の合格率は70〜80%台で推移しています。

養成機関は、北海道内各地に10校あり、4年制や3年制の学校が主で、中には昼間部や夜間部もあり、自分に合った機関を選択する事ができます。

養成校では、作業療法に関する専門知識と技術に加え、一般教養や医学的専門知識、福祉や心理学的な知識など幅広い分野を学びます。臨床実習では、病院・デイケア等のリハビリテーション施設の現場で指導をしてもらい、実際の現場での雰囲気や作業療法士の仕事を直に学ぶことができます。

晴れて作業療法士として働けるようになった後でも、日々進歩している医療に対応していくために、常に勉強は必要です。

作業療法士を選んだ理由は？

私の母が介護老人保健施設で働いており、それが作業療法士を知るきっかけでした。

作業療法士について調べていく中で、高齢期障害のみではなく、身体障害、精神障害、発達障害等の幅広い分野で作業療法士が活躍している事を知りました。様々な症状や悩みを抱えている患者さんに寄り添い、その人らしい生活を取り戻すことに関わる事が出来る素敵な仕事だと思い、作業療法士を目指し、今に至ります。

いとろ病院 NEWS

電子カルテの導入

最近の医療では、診療のほとんどが電子化されおり、医師が診療時に手書きで書いていたカルテも、今では「電子カルテ」としてシステム化されています。それらのシステムのことを総称して「医療情報システム」と呼びます。

当院においては、2012年1月に検査や、薬の処方などを電子化しましたが、システムのサポート終了に合わせ、医療の質の向上と効率化、患者サービスの向上、働きやすい環境づくりを図るため、新たなシステムの導入を検討してきました。2018年4月にシステム更新検討委員会を設置し、電子カルテを含めた新たな医療情報システムの導入に向けて準備を進め、2020年3月16日よりシステムが稼働しました。

様々なメリットが多い電子カルテですが、当然デメリットも存在します。それらデメリットを克服する事で、これからの安心安全な医療を提供する事に繋がります。

メリットとして挙げられる①つ目は、ミス防止に繋がること。電子カルテ運用にすることで、全てがわかりやすく明瞭化します。医師の字を読み解く必要がなくなり、指示を正確に把握することで指示受けミスなどを軽減することに期待できます。②つ目が、業務効率化です。今までのカルテは紙で運用しており、受診時に各科のカルテを取り寄せる必要がありました。その時間を無くし、PCで検索するだけでカルテが閲覧できるのは業務効率化に大きく貢献している点です。また、カルテを移動させていた時間も短縮できることから、会計までの時間を短縮できる事にも期待できます。③つ目は、検査結果が取り込めるということです。外注した検査や採血の結果を電子カルテに取り込めるようになり、いつでも検査の結果を閲覧でき、円滑な診察を行うことができます。④つ目は、スペースが広がることです。当然、今まで紙カルテがあった場所が減り、そこを違う用途で使えます。

メリットが多い電子カルテですが、デメリットも考慮しなければいけません。電子カルテはとにかく慣れが必要で、必要な情報を引き出す手順が多く、覚えるのが大変です。決め事を多く作る必要もあります。間違った操作では必要な情報が引き出せなくなり、操作の統一した決まりが必要となります。

そして、停電してしまうと使用できなくなるという点です。2018年9月の北海道大規模停電時には自家発電機により院内全ての停電は避けられましたが、電子カルテでは、停電時の対応はより一層必要なものとなってきます。これらデメリットを克服し、電子カルテのメリットを生かしたより良い診療を目指します。

電子カルテのメリット

ミス防止につながる
業務効率向上
検査結果が取り込める
作業スペースが広がる



電子カルテのデメリット

慣れるのが大変
決め事が多く必要
停電で使用できない



認知症サポートチーム



認知症により意思疎通が困難であり、疾患の治療への影響が考えられる患者さんに対して、入院による混乱を予防・緩和するための支援を行う「認知症サポートチーム」が当院で4月から活動を行っています。

この認知症サポートチーム（通称DST）は、認知症サポート医、認知症看護認定看護師、社会福祉士、作業療法士、薬剤師、栄養士など多職種が認知症の患者さんに対応し手助けをしていくことで、認知症の悪化を予防し疾患の治療を円滑に受けられるようにすることを目的として活動しています。

かわばた
りゅうき

あがわ
せいら

とみ
よしのぶ



し
し
だ
ま

「臨床研修医」

平成16年4月から、「診療に従事しようとする医師は、二年以上医学を履修する過程を置く大学に付属する病院又は厚生労働大臣の指定する病院において研修を受けなければならない」とされ、医師の臨床研修医制度が義務化されています。当院でも臨床研修医の受入れは行っており、今年度は3名の臨床研修医が当院で医師としてのスキルを磨く為に奮闘しています。

留萌で研修のキッカケ

富井良信医師（左）の出身地は神奈川県で北海道大学出身。留萌で研修をするキッカケは、趣味のバイクツーリングで何度か留萌に来たことがあり、海と夕陽に惹かれ、それが記憶に残っていたことが留萌での研修を決定する動機になったそうです。

川畑龍暉医師（中）の出身地は福岡で札幌医科大学

の出身。留萌には、地域医療実習で毎年研修をしており、留萌で研修医として働くことは自然と決めてたそうです。

小川聖羅医師（右）の出身地は小樽市で、唯一の北海道出身者。大学は川畑医師と同じ札幌医科大学。地域医療実習や地域フォーラムに学生代表として留萌を訪れるなどして留萌に来ることも多く、それをキッカケに留萌での研修を決めたそうです。

なりたい診療科医

今は外科系の道に進むという目標があり、研修で学ぶうちに色々な診療科の医学的知識や思考を吸収できればと考えている富井医師。川畑医師、小川医師は2人も産婦人科医になるという確固たる決意があり、揺らぐ可能性は10%くらいです。

いですかね。と川畑医師は笑顔で話された。

彼らは、2年の間に様々な診療科での研修を行い、自分がどの診療科医として働いていくかを決めます。最初から決まっている医師もいれば、研修を全て終えた後に診療科を選ぶ医師も。

研修への抱負

前年度まで夫婦で働いていた桂夫妻の名前は大学まで轟いており、お2人に負けないくらいの医師になれるように頑張りたいです。

（川畑龍暉）

桂医師と同じ留萌市で研修を受ければ同じようになれると安直に考えていましたが、早く2人に追いつけるようにしっかりと頑張りたいです。

（小川聖羅）

研修医として行える最善の医療を提供し、自分のできることを率先して行える医師になれるように頑張りたいと思います。

（富井良信）

■ 新任医師の紹介 ■

小児科

すえおか ひでふみ



末岡 秀文



いまがわ たかゆき

消化器内科

今川 貴之

循環器内科

ほそぐち しょうへい



細口 翔平



みやした けん

整形外科

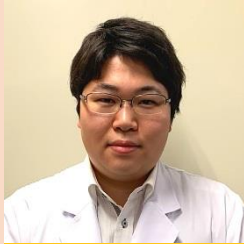
宮下 賢

消化器内科

さが じゅんや



佐賀 潤也



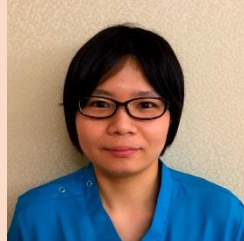
とみた けんご

総合内科

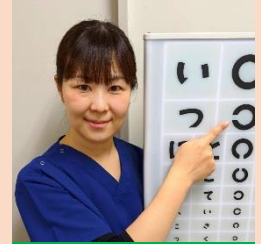
富田 賢剛

循環器内科

はやし のぞみ



林 望美



さいとう みわ

眼科

齊藤 美和

「いずい」って何？

目の不思議

日本の話題を独占している新型コロナウイルスですが、眼科診療でもウイルスに注意した対応が必要な時があります。眼の世界で特に注意が必要な病気が流行性角結膜炎です。アデノウイルス感染による結膜炎で、世間では「はやり目」と言われています。このアデノウイルスは、感染性が高いため問診の時点からスタッフとの接触を避けるように配慮しています。

専用の検出キットで簡単に検査ができますが、ウイルスが存在していても陽性にならない事がある為やっかいです。また、診断後は集団感染しないように出勤・登校を禁止し、タオルを家族と分けて使い、入浴も最後が鉄則です。症状は、かゆみ・充血・目ヤニ・流涙などがあげられます。

流行性角結膜炎は、かゆみや痛みをとめない、患者さんの中には、何か調子が悪い時に使うフレーズとして“いずい”と訴える方が度々います。これは方言なのではない気もするのですが。医師の中には他県出身者もあり、通じないこともしばしばです。北海道出身の私も使いやすくして便利な表現方法かと思うのですが・・・

そうそう症状が治ったからといって油断はしないで下さい。ちゃんと2回目の受診をして完治しているかを確認して下さい。場合によっては長期的なフォローが必要な方もいます。その時は、しばらくは“いずい”かもしれません。

子供達に接してくれる 皆さんが本当に温かくて、 ここで子育てができる 幸せを噛みしめています。

温かい幸せ
留萌での子育て



私がこの病院に再赴任してから、はや10年以上が経とうとしています。私の実家はファイターズのボールパークで一時話題になった北広島市ですが、父の実家が増毛であったため、小学校へ上がる前からウロコダンゴをほおばりながら国鉄に揺られこちらを訪れていました。そんな私が留萌で働いたうえ、出産・子育てまですることになるとは今は亡き祖父母もびっくりしていることでしょう。

最初にこちらに赴任したときは、私はまだ20代でしかも独身。その生活といえば、夜遅くまで仕事をし、頭の片隅では常に誰か彼か、患者さんのことを考え、少しでもリラックスしたいので焼き鳥屋さんのカウンターに座る。そんな日々の繰り返しであったと思います。昼間「お酒を控えてくださいねー（^ - ^）」などと診察室で患者さんとやり取りしたその夜に、その患者さんとばったりカウンターで行き会うなんてこともあり、それはそれは気まずかったりしたものです。

再赴任の際は、外科医の夫と戻ってきましたが、お互いそこそこ忙しく、ただただ増えていく猫……。もはやこの暮らしが一生続くと考えていたところに、青天の霹靂で高齢出産のリスクの中来てくれたのが長男でした。そして、「今来る!？」というさらに超高齢のタイミングで次男も参上。長男に関しては、優しい神様が「こいつは今何とかしないと消化器内科のくせに将来肝臓壊すぞ」と私に使わしてくれたと割と本気で信じていました。が、今やっと1歳半の次男は、夜泣き、授乳、後追い、イヤイヤと、43歳の体力をぎりぎり削ってくるので、やっぱり神様は優しいだけじゃないなと考え直しているところです。

今、小さい子を持つ都会のお母さんへの厳しい風当たりを見ることが多くなってきました。ベビーカーを邪魔だといわれる。子供の声がうるさいと保育園が文句を言われる……。そんなことばかりを目にしてきて子育てに対する不安を募らせながら留萌での育児をスタートさせたわけですが、買い物に行ったとき、レジで会計中子供をあやしてくれた列の後ろのおじさん。

赤ちゃんかわいいわねー!とわざわざ反対側の歩道から来て笑いかけてくれたおばあちゃん。声をかけてくれる職場のみんな。そんな触れ合いが本当に多くて、ふさぎ込むことなく、子育てを続けることができます。ハイハイしているところから見てくれている託児所の先生方のおかげで、長男も次男も小さいうちから安心して仕事をはじめることができましたし、引っ込み思案でホールの隅っこで泣いてばかりだった長男の保育園生活を本当に楽しくしてくれた先生方やお友達たちのおかげで、涙の止まらない素敵な卒園式を迎えることもできました。そしてこの春からの長男の小学校も楽しい予感がいっぱい。

不便もないわけではないのですが、何より子供達に接してくれる皆さんが本当に暖かくて、留萌で子育てができる幸せを噛みしめています。今現在、新型コロナウイルスの厳しいニュースが多い中ですが、留萌に住む皆さんが下さる笑顔を守るお手伝いが少しでもできたらと思います。相方と共に留萌の皆さんの体や心に向き合う日々を送れていることに感謝しています。

POST SCRIPT

仮面・面型・保護面・覆面これらは全て「マスク」と読むそうです。新型コロナウイルスの話題が多いこの頃ですが、次号の時は、少し明るいニュースで世間がざわついてほしいものですね。

診療スケジュール

2020年5月現在

診療科目	日		月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総合内科	●	-	●	-	●	-	●	-	-	-	-	-
消化器内科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
循環器内科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
呼吸器内科 ※	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	●	-
神経精神科 ※	-	-	-	-	-	-	-	-	●	●	-	-
小児科	●	●	●	-	●	●	●	-	●	-	●	●
外科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
整形外科	●	-	-	-	●	-	●	-	●	-	●	-
産婦人科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
皮膚科	▲	●	●	-	-	-	-	-	▲	●	-	-
形成外科	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-
泌尿器科	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
耳鼻咽喉科 ※	▲	▲	●	-	-	-	-	-	-	-	-	-
眼科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-
脳神経外科	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-	●	-

留萌市立病院 

〒077-8511
北海道留萌市東雲町2丁目16番地1
TEL: 0164-49-1011
FAX: 0164-43-0337
ホームページ: <http://rumoi-hp.jp>



←
いもるに関する
ご意見ご要望は
いもる編集部まで

受付・診療時間

診療	午前 8:45 ~ 12:30	午後 1:30 ~ 5:15
外来受付	午前 8:15 ~ 11:30	午後 1:30 ~ 3:00
再来機受付	午前 8:15 ~ 11:30	午後 1:00 ~ 3:00

「●」 診療があります
「▲」 診療/休診や
受付時間が変わります
「-」 休診です
「※」 完全予約制です

Copyright©

カメラ素材: zcool.com.cn
ロゴ等素材: ACイラスト
フォント: キュヤマ園 (数式フォント)
もじワク研究 (理想体マキナ/ビグモ00)
GAU (しろうさぎ)
フリーフォントの樹 (刻丸明朝かな/刻ゴシックLight)
フォントAC (Logisoso)

※ 診療科により受付・診療時間が異なりますので受診の際には、受付にお問い合わせください。